

5/ 整数と小数

整数

小数

2135という数と2.135という数
数を比べましょう。

⑤ 使っている数字は同じ。

2と1と3と5

数字は同じだけど、何かちがう？

位の位置で数の大きさ ちがう。

※自分の言葉で書いてみましょう。

数を調べるとき → 位取り表

P.9でたしかめる。

作業

① 教科書P.9 ① 書きこみをする。

↓ これをもとに考えよう!

整数や小数にはどのようなし
くみがあるのだろうか。

② 2135の3 → 10が3こ

2.135の3 → 0.01が3こ

※文や長い式を1行で書くときは、1マスに1文字ではなく、
行として使いましょう。

③ P.10 ③ に書きこみをする。

数字を分解して式に表してみましょう。

$$2135 = \underbrace{1000 \times 2}_{\text{千の位}} + \underbrace{100 \times 1}_{\text{百の位}} + \underbrace{10 \times 3}_{\text{十の位}} + \underbrace{1 \times 5}_{\text{一の位}}$$

$$2.135 = \underbrace{1 \times 2}_{\text{一の位}} + \underbrace{0.1 \times 1}_{\text{十分の位}} + \underbrace{0.01 \times 3}_{\text{百分の位}} + \underbrace{0.001 \times 5}_{\text{千分の位}}$$

④ 以上のことから、整数と小数はどちらも、

- ・ 位の数字はそれぞれの大きさが何こあるか表している。
- ・ 位ごとの大きさ × 何こ分になっている。
- ・ 何こ分を表す数は、0から9。

整数や小数では、0から9の数字が書かれた位置によって、何の位かが決まる。また、それぞれの数字は、その位の数が何こあるかを表している。

↑ 整数と小数のしくみは同じ。

0~9の数字と小数点があれば、どんな大きさの数でも表すことができる。

P.10 ① ② 教科書に書きこみ 後で答え合わせをします。